Arakawa Riverside View

DATA

荒川の全長（流路延長）▶173km 1級河川、日本で15番目に長い川

流域面積▶2,940k㎡　流域とは雨や雪どけ水などが地表や地下を通ってその川に流れこんでくるすべての地域のこと

荒川の水源▶甲武信ケ岳（こぶしがたけ）標高2,475 m

荒川放水路▶明治44年（1911）着工　昭和5年（1930）完成

放水路部分の長さ▶22km



❶ 秋ケ瀬取水堰（あきがせしゅすいぜき）

水道用水の確保を目的に整備された堰。

❷ 彩湖（荒川第一調節池）（さいこ）

水害防止のための洪水調節機能等を持つ調節池。



❸ 笹目橋（ささめばし）

河口からこの橋までが、荒川下流河川事務所の管轄です。

❹ 菖蒲川・笹目川等浄化導水（しょうぶがわ・ささめがわ）

「水環境改善緊急行動計画（清流ルネッサンスⅡ）」で策定された様々な取り組みの一環として菖蒲川・笹目川等の上流に荒川の水を導水しています。

❺ 笹目水門

笹目川の終点に位置しています。洪水時には水門が閉まり、荒川の水が笹目川へ逆流するのを防ぎます。



❻ 浮間地区河川防災ステーション

洪水時や地震時に水防活動や復旧活動を行うために必要な資機材を備蓄した防災拠点として、平成21年に整備されました。



❼ 川口地区高規格堤防

堤防の上に新しい校舎が建てられました。



❽ 綾瀬川・芝川等浄化導水（しばかわ）

全国初の取り組みとして、地下トンネルの上部を地下鉄（埼玉高速鉄道線）、下部を河川の導水路として利用しています。

❾ 岩淵緊急用船着場（いわぶち）

緊急用船着場では災害時の復旧活動に必要な資機材や救援物資等の積卸を行います。平常時にも、河川工事に必要な資機材の運搬の拠点などとして利用されます。



❿ 旧岩淵水門・岩淵水門（いわぶち）

明治43年大洪水を契機として人工的に開削された現在の荒川（放水路）と共に建設された水門が旧岩淵水門（赤い水門）で、大正13年に完成しました。洪水時、東京下町を守るために隅田川に流れる流量を調節し、舟運の通行も考慮しています。老朽化と地盤沈下により、現在は昭和57年に建設された岩淵水門（青い水門）にその役目を引き継いでいます。



⓫ 荒川知水資料館（amoa）（アモア）

平成10年に開館し、年間約6万人の来館者が訪れています。荒川放水路の成り立ちや流域の発展、現在の課題など荒川に関するさまざまな内容について無料で見学することができます。

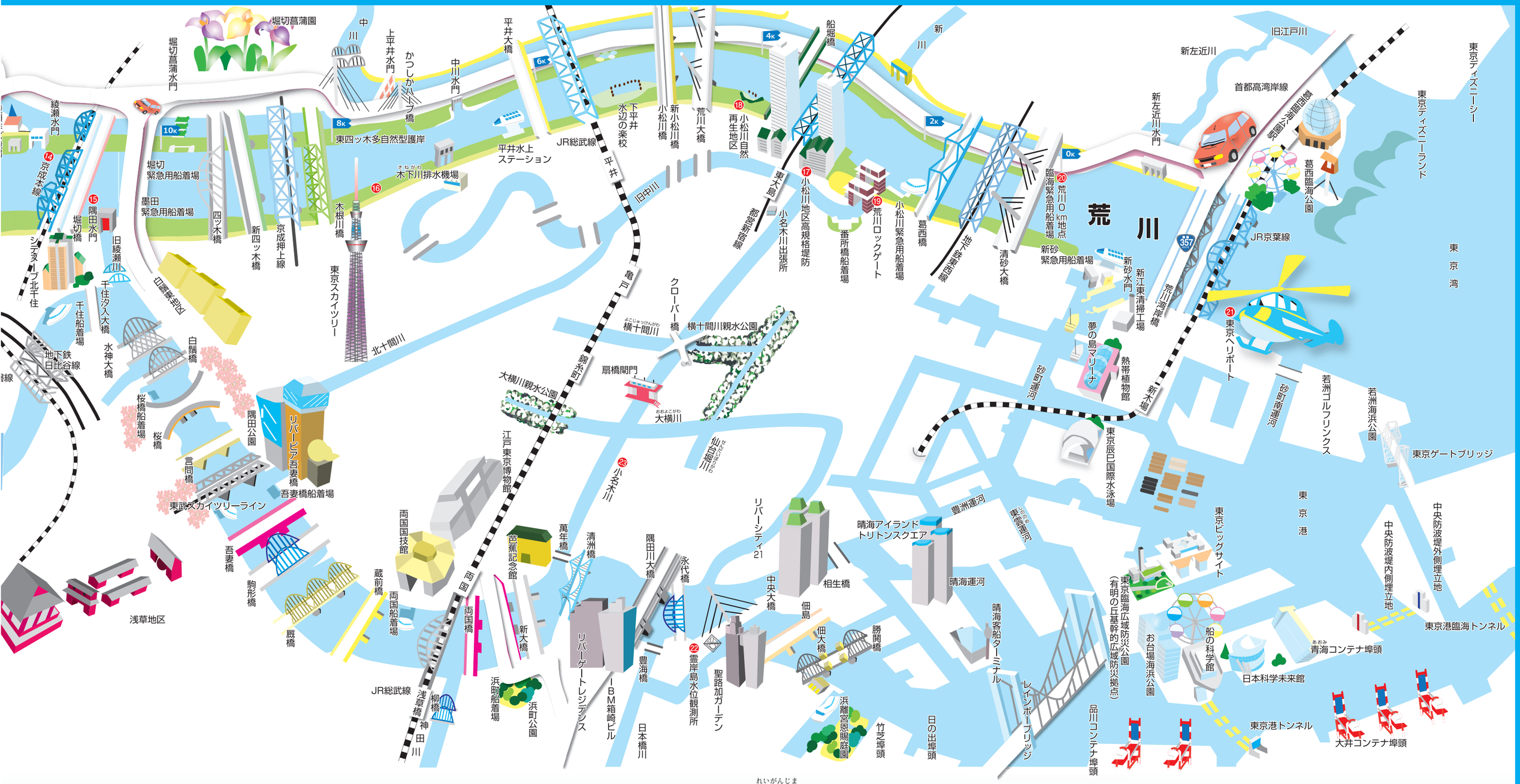


⓬ 足立桜づつみ

荒川の五色桜は、明治時代から桜の名所として知られています。

⓭ 新田地区高規格堤防

荒川と隅田川に挟まれた地域で、工場の移転に伴って堤防の整備を進めました。今では新たなまちづくりにより、賑わいが創出されています。



⑭ 京成本線

荒川には、橋梁の高さ不足の影響により局所的に堤防の高さが低い区間があります。
京成本線の荒川橋梁は、荒川下流部で最も高さが不足しており、治水上の弱点となっています。
洪水が発生した場合には、越水により堤防が決壊する恐れがあります。
これに備えて、橋梁を高い位置に架け替え、堤防の高さが低い区間を解消します。



⑮ 隅田水門

隅田川から 400 メートルのところにつくられた水門。旧綾瀬川、荒川、隅田川の舟運の確保、荒川の洪水が隅田川へ入らないようにする役目を果たしています。

⑯ 緊急用河川敷道路

緊急用船着場等と接続し、災害時の物資輸送路として両岸に整備されています。



⑰ 小松川地区高規格堤防

荒川の代表的な高規格堤防整備地区で、都営新宿線の開通と同時に再開発が進んだもの。耐火構造の高層マンションが、災害時の避難広場を囲むように建っています。

⑱ 小松川自然再生地区

既存の護岸を撤去して緩やかな水際が創出されています。ヨシ原や干潟の再生が実施されました。



⑲ 荒川ロックゲート

平成 17 年 10 月に完成した、水位差のある荒川と江東デルタ地帯の河川を結ぶ閘門。災害時においては、救援物資の運搬や被災者の救出など災害復旧活動の支援が可能となり、広域的な防災ネットワークとして活躍が期待されます。また、平常時においても水上観光など、川と川を通じた新なな交流が行われています。



⑳ 荒川 0k 地点

中川との合流点。かつてこの先は海でしたが、埋め立てにより川の長さが 4km 延びたため、ここから先は -1k、-2k…と数えます。

㉑ 東京ヘリポート

国土交通省所有の災害対策用ヘリ「あおぞら号」もここをホームポートとして活躍しています。

㉒ 霊岸島水位観測所

この観測所の零位を基準とする基本水準面（A.P.）は、荒川・中川・多摩川等の水位基準となっています。なお、日本の標高は東京湾の平均海面（T.P.）を基準として測られています。その基準となる平均海面は、かつてこの水位観測所により測定されたものです。
A.P. と は Arakwa Pail の略で、A.P. ± 0 ＝ T.P. − 1.134 m。



㉓ 小名木川

江戸時代に開削。行徳の塩を運ぶ重要な水路として利用されていました。

国土交通省　関東地方整備局　荒川下流河川事務所
〒 115-0042　東京都北区志茂 5-41-1
TEL：03-3902-2311㈹　FAX：03-3902-2346

荒川下流河川事務所　岩淵出張所
〒 115-0042　東京都北区志茂 5-41-2
TEL：03-3901-4240　FAX：03-3901-2442

荒川下流河川事務所　小名木川出張所
〒 136-0072　東京都江東区大島 8-33-26
TEL：03-3681-6131　FAX：03-3683-7453

荒川知水資料館（amoa）
〒 115-0042　東京都北区志茂 5-41-1
TEL：03-3902-2271　FAX：03-3598-2132



地域連携課